

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2026.6.22-28

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（1～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

2:1 ヨナは魚の腹の中から、自分の神、

【主】に祈った。

2:2 「苦しみの中から、私は【主】に叫びました。すると主は、私に答えてくださいました。よみの腹から私が叫び求めると、あなたは私の声を聞いてくださいました。

2:3 あなたは私を深いところに、海の真中に投げ込まれました。潮の流れが私を囲み、あなたの波、あなたの大波がみな、私の上を越えて行きました。

2:4 私は言いました。『私は御目の前から追われました。ただ、もう一度、私はあなたの聖なる宮を仰ぎ見たいのです。』

2:5 水は私を取り巻き、喉にまで至り、大いなる水が私を囲み、海草は頭に絡みつきました。

2:6 私は山々の根元まで下り、地のかんぬきは、私のうしろで永遠に下ろされました。しかし、私の神、【主】よ。あなたは私のいのちを滅びの穴から引き上げてくださいました。

2:7 私のためしいが私のうちで衰え果てたとき、私は【主】を思い出しました。私の祈りはあなたに、あなたの聖なる宮に届きました。

2:8 空しい偶像に心を留める者は、自分への恵みを捨て去ります。

2:9 しかし私は、感謝の声をあげて、あなたにいけにえを献げ、私の誓いを果たします。救いは【主】のものです。」

2:10 【主】は魚に命じて、ヨナを陸地に吐き出させた。

ヨナは死を意味する魚の中で、その信仰が変わりました。「私はあなたの聖なる宮を仰ぎ見たいのです。…主よ。あなたは私のいのちを滅びの穴から引

き上げてくださいました。…私は、感謝の声をあげて、あなたにいけにえをささげ、私の誓いを果たしましょう。」という祈りまでもささげるようになったのです。

ヨナのように神様から離れたくなるときもあるかも知れませんが、それは人生の破綻を意味します。しかし死のような状況の中で、十字架の死と復活とひとつになるなら、その人の人生は回復の恵にあずかるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 23日 火曜

ヨナ



3:1 再びヨナに次のような【主】のことばがあった。

3:2 「立ってあの大きな都ニネベに行き、わたしがあなたに伝える宣言をせよ。」

3:3 ヨナは、【主】のことばのとおり、立ってニネベに行った。ニネベは、行き巡るのに三日かかるほどの非常に大きな都であった。

3:4 ヨナはその都に入って、まず一日分の道のりを歩き回って叫んだ。「あと四十日すると、ニネベは滅びる。」

3:5 すると、ニネベの人々は神を信じ、断食を呼びかけ、身分の高い者から低い者まで粗布をまとった。

3:6 このことがニネベの王の耳に入ると、彼は王座から立ち上がって、王服を脱ぎ捨てて粗布をまとい、灰の上に座った。

3:7 そして、王と大臣たちの命令によって、次のような布告がニネベに出された。「人も家畜も、牛も羊もみな、何も味わってはならない。草をはんだり、水を飲んだりしてはならない。」

3:8 人も家畜も、粗布を身にまとい、ひたすら神に願い、それぞれ悪の道と、その横暴な行いから立ち返れ。

3:9 もしかすると、神が思い直してあわれみ、その燃える怒りを収められ、私たちは滅びないですむかもしれない。」

3:10 神は彼らの行いを、すなわち、彼らが悪の道から立ち返ったのをご覧になった。そして神は彼らに下すと言ったわざわいを思い直し、それを行われなかった。

ことばに従いませんでしたが、試練の後に主に従うようになりました。私たちが会っている試練は主の御心を知ってそれを行うためなのです。ただ問題がなくなったら良しとして終わらせないようにしましょう。

ヨナはニネベで叫び続けました。1人の声で大きな町が変わったのです。主の命令であるなら、主は従う者によって起こるみわざも用意なさっています。信じてまた期待して行動してみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

ヨナは、最初は自分の価値観を優先させて、主の



➤ 24日 水曜

ヨナ



4:1 ところが、このことはヨナを非常に不愉快にした。ヨナは怒って、
4:2 【主】に祈った。「ああ、【主】よ。私がまだ国にいたときに、このことを申し上げたではありませんか。それで、私は初めタルシシュへ逃れようとしたのです。あなたが情け深くあわれみ深い神であり、怒るのに遅く、恵み豊かで、わざわざを思い直される方であることを知っていたからです。
4:3 ですから、【主】よ、どうか今、私のいのちを取ってください。私は生きているより死んだほうがましです。」
4:4 【主】は言われた。「あなたは当然であるかのように怒るのか。」
4:5 ヨナは都から出て、都の東の方に座った。そしてそこに自分で仮小屋を作り、都の中で何が起るかを見極めようと、その陰のところに座った。
4:6 神である【主】は一本の唐胡麻を備えて、ヨナの上をおおうように生えさせ、それを彼の頭の上の陰にして、ヨナの不機嫌を直そうとされた。ヨナはこの唐胡麻を非常に喜んだ。
4:7 しかし翌日の夜明けに、神は一匹の虫を備えられた。虫がその唐胡麻をかんだので、唐胡麻は枯れた。
4:8 太陽が昇ったとき、神は焼けつくような東風を備えられた。太陽がヨナの頭に照りつけたので、彼は弱り果て、自分の死を願って言った。「私は生きているより死んだほうがましだ。」
4:9 すると神はヨナに言われた。「この唐胡麻のために、あなたは当然であるかのように怒るのか。」ヨナは言った。「私が死ぬほど

怒るのは当然のことです。」

4:10 【主】は言われた。「あなたは、自分で労さず、育てもせず、一夜で生えて一夜で滅びたこの唐胡麻を惜んでいる。

4:11 ましてわたしは、この大きな都ニネベを惜しまないでいられるだろうか。そこには、右も左も分からない十二万人以上の人間と、数多くの家畜がいるではないか。」

ヨナは自分の預言の通りにならなかったことで、怒りました。私たちも自分の立場やイメージに傷がつくからと、ヨナのように不満に思うことはないでしょうか。

主はヨナを海の中でも守ってくださいましたから、ヨナを愛して良くしてくださいる方です。それなのにヨナは主の大きな愛に気づくことができなかったのです。私たちは自分のことで不満に思うよりも、主の愛がなされることを喜びとしましょう。主はそのような人を喜んでくださいます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



25日 木曜

ナホム



1:1 ニネベについての宣告。エルコシュ人ナホムの幻の記録。

1:2 【主】はねたんで復讐する神。【主】は復讐し、憤る方。【主】はご自分に逆らう者に復讐し、敵に対して怒る方。

1:3 【主】は怒るのに遅く、力強い方。決して罰せずにおかれることはない。【主】は、その道がつむじ風と嵐の中にあり、雲は、御足がかき立てるほこりである。

1:4 主は海を叱って干上がらせ、すべての川を涸らされる。バシヤンとカルメルはしおれ、レバノンの花もしおれる。

1:5 山々は主の前に揺れ動き、もろもろの丘は溶け去る。地は御前でくつがえる。世界とその中に住むすべてのものも。

ニネベは当時強国で偶像崇拜と暴虐の国でした。その力はいつまでも続くかに思われますが、神の主権がそれを許さないというのが、この預言書のテーマです。「地は御前でくつがえる。世界とその中に住むすべてのものも。」ということは実際に起こりました。

しかしまたここには「主は怒るのにおそく」とも書いてあります。主は私たちのタイミングで怒られるのではなく、その主権によって最善のときに定めておられるのです。その主にお任せして、祈りつつ忍耐できるかどうか、信仰者に問われるのです。それができないとき、人は主以外のものに頼り、心売って、その結果裏切られるのです。また気づいた時には、主から遠く離れてサタンの影響を受けるようになっていますから、気をつけなくてはなりません。

主を信頼し、その定められた時を信じましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



26日 金曜

ナホム



1:6 主の激しい憤りの前に、だれが立てるだろうか。だれが、その燃える怒りに耐えられるだろうか。主の憤りは火のように注がれ、岩々は御前に打ち砕かれる。

1:7 【主】はいつくしみ深く、苦難の日の砦。ご自分に身を避ける者を知っててください。

1:8 しかし、押し流す大水でその場所を滅ぼし尽くし、敵どもを闇に追いやられる。

1:9 おまえたちは【主】に対して何を企むのか。主は滅ぼし尽くす方。敵対する者は二度と立ち上がれない。

1:10 彼らは、絡みついた茨。大酒飲みの酔っぱらいのようだ。乾ききった刈り株のように焼き尽くされる。

1:11 おまえたちの中から、【主】に対して悪を謀り、よこしまなことを企てる者が出た。

1:12 【主】はこう言われる。「彼らが壮健で、数が多くても、それでも、刈り取られて去って行く。わたしはあなたを苦しめたが、もう苦しめない。

1:13 今、わたしは彼のくびきを砕いてあなたから外し、あなたのかせを打ち砕く。」

1:14 【主】はおまえについて命じられる。

「もはや子が宿ることなく、おまえの名は絶える。おまえの神々の宮から、わたしは彫像や鑄像を断ち切る。わたしはおまえの墓を造る。おまえが取るに足りない者となったからだ。」

1:15 見よ。良い知らせを伝える人の足が、平和を告げ知らせる人の足が山々の上にある。ユダよ、あなたの祭りを祝い、あなたの誓願を果たせ。よこしまな者たちは、もう二度とあなたの間を通り過ぎることがない。彼らはみな、絶ち滅ぼされた。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



27日 土曜

ナホム



2:1 追い散らす者が、おまえに向かって
上って来る。壘を見守り、道を見張れ。腰を
強くし、大いに力を奮い立たせよ。

2:2 【主】がヤコブの威光を、イスラエルの
威光のように回復されるからだ。まことに、
荒らす者が彼らを荒らし、彼らのぶどうの枝
を損なう。

2:3 勇士の盾は赤く染まり、兵士は緋色に包
まれる。戦車は、それが整えられる日、鋼の
火を通され、槍は振り回される。

2:4 戦車は通りを走り狂い、広場を駆け巡る。
その有様はたいまつのように、稲妻のように
走る。

2:5 高貴な人は呼び出されるが、途中でつま
ずき倒れる。人々は町の城壁へ急ぐが、そこ
に外から柵が設けられる。

2:6 いくつもの川の水門が開かれ、宮殿は消
え去る。

2:7 王妃は捕らえられ、連れ去られる。女奴
隷たちは鳩のような声でつぶやき、胸をたた
いて悲しむ。

ニネベはアッシリヤの主要都市でしたが、バビロ
ニアなどの連合軍に包囲され、ついに陥落しました。
そのときの狼狽の様子が、ここに預言されています。
それは「ヤコブの威光を、イスラエルの威光のよう
に回復される。」という目的のためです。

主はその民を回復し祝福してくださいませ。もち
ろん主の正しさをいい加減にはなさいませんが、主
に従う者が苦しむままには捨て置かれませんが、その
みわざは、ここにニネベの狼狽が記されているよう
に現実的です。主の力あるみわざを期待しましょう。
信じない者にならないで、信じる者になりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなた
の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



2:8 ニネベは、水が流れ出る池のようだ。
「止まれ、止まれ」と言っても、向きを変える者はいない。

2:9 銀を奪え。金も奪え。その財宝には限りがない。あらゆる尊い品々があふれている。

2:10 不毛、空虚、そして荒廃。心は萎え、膝は震える。どの腰もわななき、どの顔も青ざめる。

2:11 獅子の住みかはどこか。若い獅子にとっての餌場は。雄獅子と雌獅子が出歩くときに、子獅子がだれにも脅かされない住みかは。

2:12 獅子は、十分な獲物を子獅子のために引き裂き、雌獅子のためにかみ殺し、獲物でその穴を、かみ裂かれた物でその巣を満たす。

2:13 「見よ、わたしはおまえを敵とする。——万軍の【主】のことは——おまえの戦車を燃やして煙にし、若い獅子を剣が食い尽くす。おまえの獲物を地から絶やし、おまえの使者たちの声はもう聞かれない。」

ニネベは強固で大きな町でしたが、現代においては長らくその存在位置すらわからないままです。有り得ないと思われたことが起きたのです。これはニネベが滅ぼされる100年も前に預言されたことで、預言の当時はまだ隆盛を誇っていたのです。主によって見放されるとはそのようなことであり、主によって滅ぼされるとはかくも脆いものなのです。

逆に主によって守られるとは、堅固であり頼もしいことです。ニネベを中心都市としたアッシリヤに蹂躪されたイスラエルでしたが、主によって守られて今は安心を得ました。その後はバビロニアによって支配されますが、その後にはエルサレムに帰還することができたのです。

主に頼って間違いはありません。主に従って損はありません。主に信頼して失望はありません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

